

特別企画：市長とららちゃんの未来会議



ららちゃん
郡上良良ちゃん

『300人が100人!?!』

衝撃データが語る郡上の危機



山川市長

第1章 データが語る郡上の「今」と「未来」

らら…市長、こんにちは！ いつも郡上市のために、お仕事お疲れ様です！
市長…ららちゃん、ありがとう。今日はいつもとちよつと違う、とても大切な会議に付き合ってほしいんだ。『300人から100人へ』この数字が示す未来について、一緒に真剣に考えてみないかい？

らら…300人から100人…？ なんだか難しい数字のお話し…？

市長…ううん、ららちゃんにも関係のある、とっても大切な話なんだ。郡上に今、私たちの想像以上に大きな変化の波が押し寄せている。この波を越えなければ、郡上の未来は、今と同じようにはいなくなってしまうかもしれない…。そんな、喫緊の課題なんだよ。

第2章

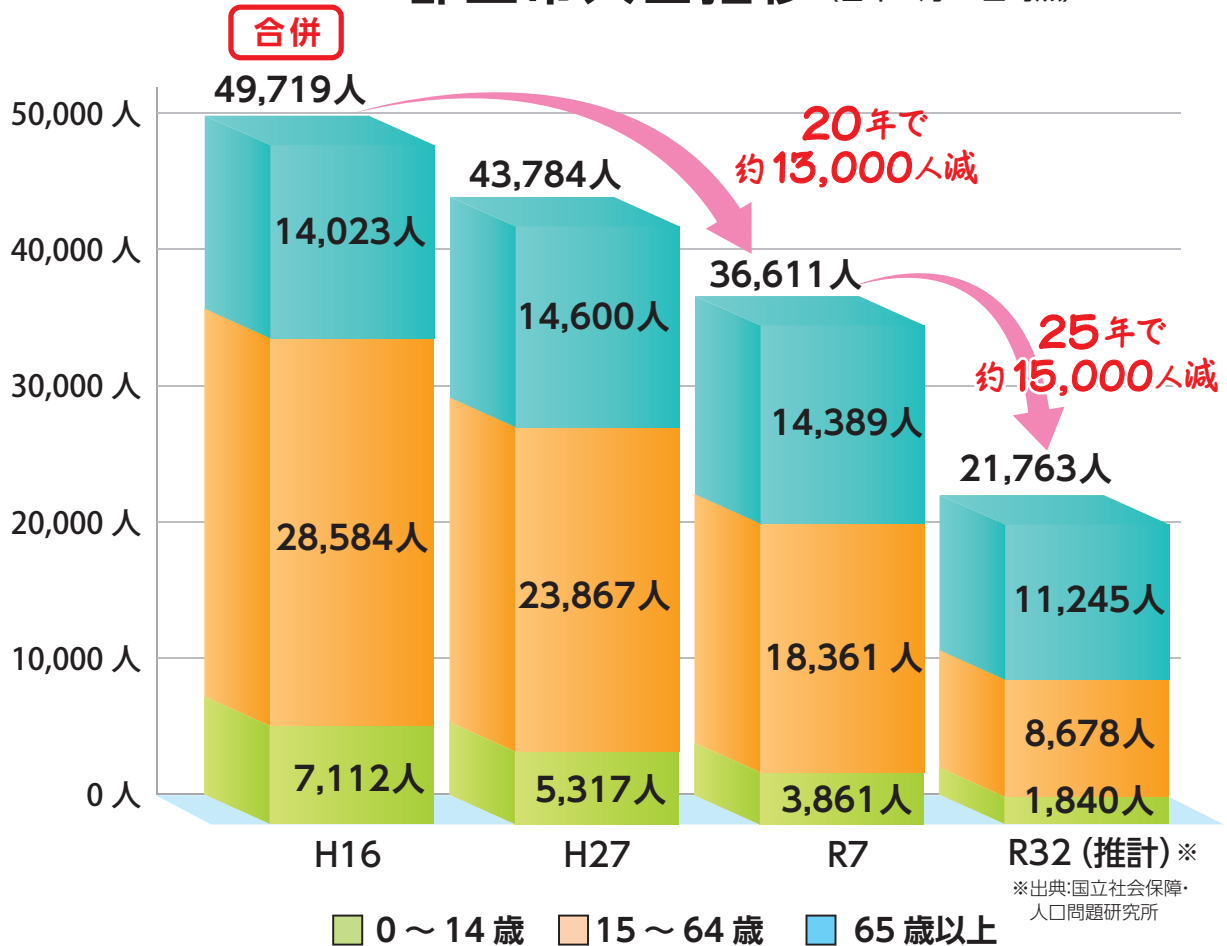
あれ？ららちゃんの周り、
なんだか静かになってない？

…郡上市の人口、今、

何が起きているの？！

グラフ1

郡上市人口推移 (各年3月31日時点)



市長…まずは、右のページのグラフ1を見てほしい。ららちゃんが生まれるずっと前から、郡上市の人口は減り続けているんだ。例えば、郡上市が合併した時と比べると、今はもつ13,108人も減ってしまっているんだよ。
 (※ららちゃんの誕生日は、平成26年3月1日です)

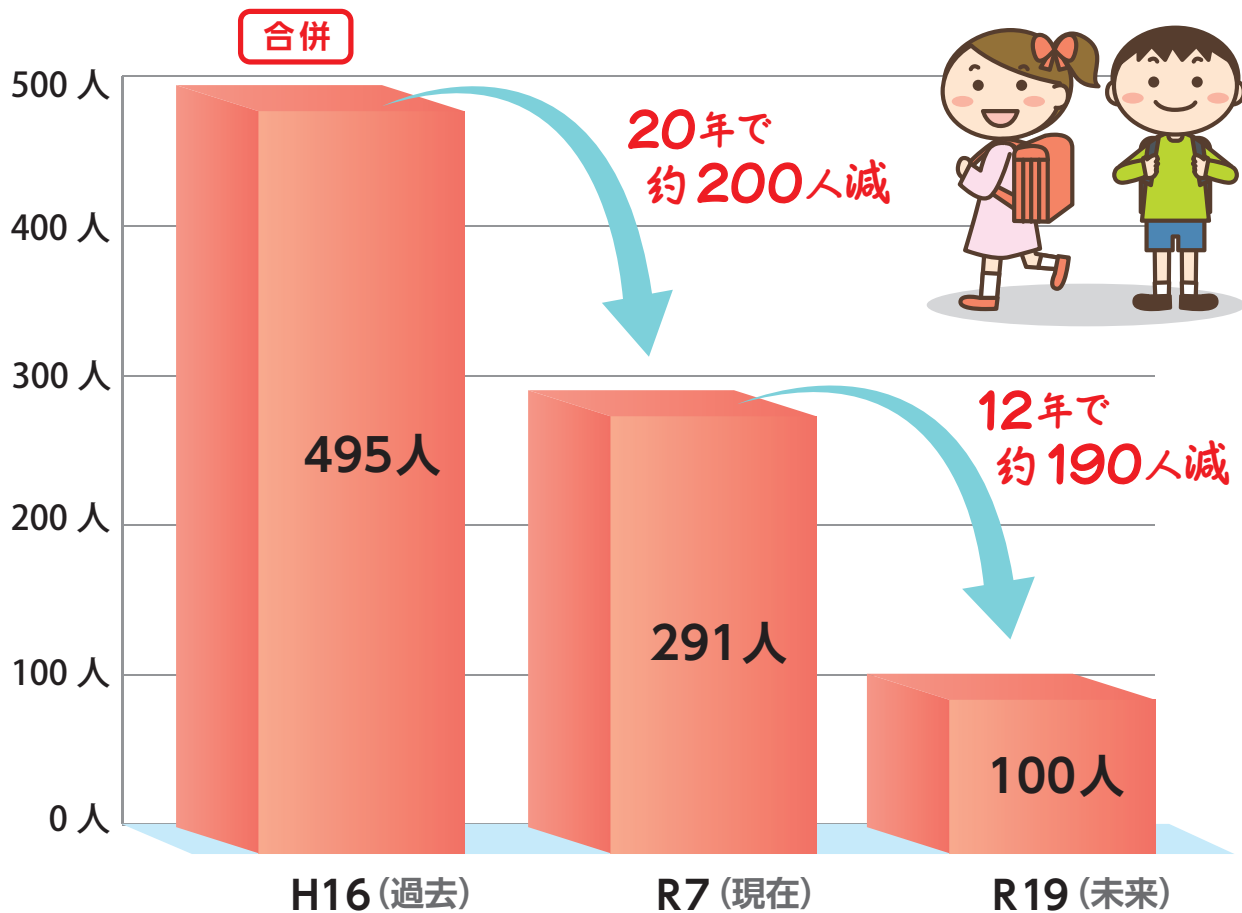
らら…ええっ、そんなに!? 昔の郡上は、もつともつと賑やかだったのかな?

市長…うん、そうだね。昔は地域のお祭りや、お盆の集まりなんかでも、今よりもつとたくさんの人が集まっていたんだよ。学校の周りも、元気な声があふれていたね。人口が減るということは、地域社会の活力が少しずつ失われていくことなんだ。そして、統計の数字を見ると、このままいくと25年後には今の郡上から、さらに約4割の人がいなくなってしまうという、厳しい予測も出ているんだ…。

らら…なんか、背中がゾクゾクする…。でも、なんでそんなに減っちゃうの? 市長…理由はいくつかあるけれど、一番大きな理由の一つは、『新しく生まれてくる命』の数が、とつても減ってしまっていることなんだ。

グラフ2

一学年平均児童数



第3章 衝撃の事実!

未来の小学生が、
 たった『100人』…!?

ららちゃん、この数字、
 知ってる?!

市長…ららちゃんは、今、郡上市の小学校に何人くらいの子どもたちがいるか知っているかな? 元気な声が毎日聞こえるけれど、具体的な数字はどうだろう?

らら…うん。たくさん友達がいるから、きつとたくさんいるね!

市長…うん、そうだね。今、郡上市の小学校では、全部でおよそ1,800人の小学生が元気に学んでいるんだ。これを1学年平均で考えると、だいたい300人くらいの子どもたちが、毎日笑顔で登校していることになるね。

(※グラフ2参照)

でもね、ららちゃん。これから郡上で生まれてくる「未来の小学生」の数が、驚くべきスピードで減ってしまっているんだ。これが、郡上の未来にとって、最も深刻な問題の一つなんだよ。

らら…え、そうなの!? らら、それは心配だね…。

市長…うん。昨年(令和6年度)に郡上市で生まれた赤ちゃんの数は、13

8人だった。そして、今年（令和7年度）は、さらに減ってわずか108人になる見込みなんだ（この数字は、母子手帳の発行部数から推計した、大変重要な予測だよ）。

らら…ひゃ…ひゃくはち…にん…？
ららの頭がクラクラする…。

市長…そうだね。つまり、このままのペースでいくと、今、300人いる1学年の子どもたちが、近い将来、たったの100人程度にまで減ってしまうということなんだ。（※グラフ2参照）
らら…えええーっ!? 300人が100人に!? ららの学校も、友だちが少なくなっちゃうの!? 運動会もクラス対抗ができなくなっちゃうの…? 部活もみんなが集まれなくなっちゃうの…?

市長 ららちゃんの言う通りだ。学校ではクラスが減ったり、もっと広い範囲で学校が統合されるような話も出てくるかもしれない。地域のスポーツクラブや、伝統芸能、お祭りのお手伝いなんかも、子どもたちの数が減ってしまつと、続けていくのが難しくなってしまう可能性もある。

子どもたちの笑顔が減ることは、郡上全体の活力が失われることにつなが

る。これは、郡上の未来にとって、本当に緊急の、そして目を背けてはいけない現実なんだよ。

第4章 人口が減ると、ららの暮らしも変わっちゃう!?

「見えないコストが追い打ち！
「あれもこれも」限界の行政」



らら…うん、お友だちが減るのは寂しいな…。でも、それだけなの？ ららの暮らしも、何か変わっちゃうの？

市長…うん、ららちゃんの暮らしにも、

大きな影響が出てくるんだ。例えば、広報郡上8月号でも話した『見えないコスト』を覚えているかな？

らら…うん！ 物価が上がって、市のお財布が大変、っていう話だよな！

市長…その通り！ 電気代やガソリン代が高くなるように、市役所でみなさんの暮らしを守るために使う「もの」や「サービス」も全部高くなっているんだ。でもね、人口が減っても、郡上市の道路の長さが変わるわけじゃないし、水道管がなくなるわけでもない。小学校や公民館、病院といった公共施設の数も、すぐには減らないよね。つまり、インフラや施設の維持にかかる費用は、ほとんど変わらないんだ。そうすると、どうなると思う？

らら…うん。一人ひとりの市民が、もっとたくさんお金を払わないといけない、ってことなの？

市長…まさにその通り！ 人口が減れば減るほど、残された一人ひとりの市民のみなさんが負担する費用は、どんどん増えてしまつんだ。これは、みなさんの家計が苦しくなると同じように、郡上市のお財布も苦しくなっていくということなんだよ。

それに、公共交通も深刻だね。使う人

が減ると、バスの便数を減らしたり、路線そのものを維持していくのが難しくなる。そうすると、高齢の人や学生さんの「足」が奪われてしまうかもしれない。

病院や福祉サービスもそうだ。医師や看護師、介護士さんの数も限られている中で、人口が減っても、必要なサービスは変わらない。むしろ、高齢化が進むことで、よりきめ細やかなサービスが求められるようになる。これまでは「あれもこれも」と市民のみなさんの要望に応えようと頑張ってきたけれど、これからは限られたお金と人で、「あれかこれか」、つまり本当に大切なものに優先順位を決めて、選択していかなければならない、厳しい時代になっているんだよ。



第5章

未来への選択！

ららちゃんと一緒に、
新しい郡上を創ろう！

「あれかこれか」の選択と
私たちにできること



らら：らら、なんだか大変そうな未来
だな…。でも、らは郡上が大好きだ
から、なんとかしたいよ！ どうした
らいいの？

市長…ありがとう、ららちゃん！ そ
の「何とかしたい」という気持ち
が、何よりも大切なんだ。厳しい現実だ
けど、私たちはこの課題から目をそらさ
ない。そして、市民のみなさんと一緒
に、新しい郡上の未来を創っていく覚
悟だ。

例えば、私たちは「あれかこれか」の
決断をしなければならない。子どもた
ちの数が減る中で、全ての学校を維持
し続けるのが難しいとしたら、どうす
れば子どもたちにとってより良い教育
環境を提供できるのか。使われなくな
った公共施設をどう利用するのか。限
られた予算と人材の中で、「子育てしや
すい郡上」「若者が戻ってきたい郡上」
にするために、どこに最も力を注ぐべ
きなのか。

限られた予算をどこに集中させるか。
地域のみなさんと協力して、どんな知
恵を出し合えるか。行政の無駄をなく
し、効率の良い郡上市役所にするには
どうすればいいか。これらを真剣に考
え、「あれかこれか」の決断を市民のみ
なさんと共有していく必要があるん
だ。

らら：ららにも何かできることはあ
るの？

市長…もちろん！

ららちゃんや、市民のみなさん一人ひ
とりが、この問題に『自分ごと』とし
て関心を持ち、「郡上の未来をどうした
いか」を考え、声を上げてくれること
が、何よりも大きな力になるんだ。例
えば、地域の活動へ積極的に参加して
みたり、バスに乗って郡上の魅力を再
発見したり、市への意見を寄せてくれ
たり。小さなことでも、その一つひと
つが未来を創る力になるんだよ。

私は、みなさんと共に、この困難を乗
り越え、明るい郡上の未来地図を描い
ていきたい。今までと同じ事を続けて
いては限界がある。だから、心を一つ
にして「自分は何ができるか」を考え
ていきましょう。みなさんのご理解と
ご協力をお願いします。

らら：らら、分かったよ！ ららも、
みんなと力を合わせて、郡上の未来を
守っていくよ！ みんな一緒に頑張ろ
うね！



第6章 郡上の未来は、私たち一人ひとりの「選択」と「行動」で変わる！

郡上市の人口減少は、今、ここに起きている現実です。

「小学生の数」と「生まれてくる命の数」が、郡上の未来にとって喫緊の課題です。限られた財源と人材の中で、「あれもこれも」を維持することは困難です。「あれかこれか」の選択と集中が必要です。

私たち行政は、未来への責任を負い、「あれかこれか」の重要な選択を市民のみなさんと共に考え、実行していきます。市民のみなさん一人ひとりの関心と行動が、郡上の未来を創る大きな力となります。

共に考え、悩み、そして行動し、明るい未来を創りましょう！